

## サービス見込量進捗管理シート

| NO. | 項目             |         | 令和2年度対計画比を踏まえた分析・考察<br>(要介護認定者数・要介護認定率のみ令和3年度)                                                                                                                                        |
|-----|----------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 要介護認定者数(R3年度)  |         | 被保険者数はほぼ計画どおりで、認定率は第7期累計が16.6、第8期R3の計画値を16.5%としていたが実績は16.0%で計画値を下回った。そこまで大きな差ではなく、これといった要因はみあたらない。R3認定率は県平均および同規模自治体(市貝町)とほぼ同じで特別に問題視する必要はないと考える。これまでのような単純な右肩上がりではないので、今後の動向を注視していく。 |
| 2   | 要介護認定率(R3年度)   |         |                                                                                                                                                                                       |
| 3   | 利用者数           | 施設サービス  | 老人保健施設の差が一番大きい。塩谷町はそもそもの人数が少ないため、率にすると8%弱の差が出てしまう。人数にすると3～4人の差でありほぼ計画通りである。また療養型から医療院への転換があり、その分の差が出ているが2つを合わせて考えると差はほとんどない。利用者数はほぼ計画通りである。当町は人口規模の割に施設が充実しているため同規模自治体と比較すると施設利用率が高い。 |
| 4   |                | 居住系サービス | 特定施設入居者生活介護で他市町からの入居があり計画を下回ったが、上記施設サービスと同様に人数にするとほぼ計画通りである。                                                                                                                          |
| 5   |                | 在宅サービス  | 6期の伸び率をそのまま反映させた計画値に対し、実際は伸びなかったため訪問通所系で軒並み計画値を下回った。ずっと増え続けた給付額もR3で初めて前年度を下回り今後は横ばいになると予想される。実績値に特に行き過ぎたサービスは見受けられず充実の範囲と捉えている。                                                       |
| 6   | 受給率            | 施設サービス  | 利用者数と同様の分析となる。療養型と医療院は2つ合わせて考え、ほぼ計画通りと考える                                                                                                                                             |
| 7   |                | 居住系サービス | 利用者数と同様の分析となる。                                                                                                                                                                        |
| 8   |                | 在宅サービス  | 利用者数と同様の分析となる。県平均と比較すると短期入所・訪問看護が高く訪問リハが低い。                                                                                                                                           |
| 9   | 1人1月あたり利用日数・回数 |         | 短期入所療養介護(老健)においては、計画値より実績値が約4倍ほど(2日→8日)になっている。特養においては計画値どおりだが15日となっており、本来の短期入所利用のほか自宅での介護が難しく長期利用している実態がある。今後も長期利用はあると思われるが本来の短期入所利用に支障がないよう注意が必要である。                                 |
| 10  | 受給者1人あたり給付費    | 施設サービス  | ほぼ計画通りである                                                                                                                                                                             |
| 11  |                | 居住系サービス | ほぼ計画通りである                                                                                                                                                                             |
| 12  |                | 在宅サービス  | 短期入所療養介護(老健)においては、上記のとおり計画2日で実際が8日なので大きな差となっている。そのほか県平均と比較しても特に問題視する点はない。                                                                                                             |
| 13  | 給付費            | 施設サービス  | 利用者数と同様の分析となる。現状において次期計画に、施設整備の必要性はないと考えている。                                                                                                                                          |
| 14  |                | 居住系サービス | 利用者数と同様の分析となる。                                                                                                                                                                        |
| 15  |                | 在宅サービス  | 利用者数の考察と同様。計画値が大きすぎて実績が下回っている。町には医療系のサービスを担う医療法人が1つしかないが、ドクター意見や法人の意向によりサービス利用が左右される可能性があると考えする。自立に向けたりハ中心のサービスと変換している傾向があり、良いことと捉えている。                                               |